

「ふれあいの里山」復活大作戦



日時	2014年 9月 6日(土) 9時00分～ 15時00分
場所	金ヶ崎公園
参加者	市民自然図鑑案内人(明石市内の学校の先生)/2名、エコウイング会員/ 8名、事務局/ 1名、計 11名(午後 8名)

● 午前

8月の活動は、台風の影響で中止になったので、2か月ぶりの金ヶ崎公園の活動でした。

今月も、「明石市民自然図鑑／昆虫編」の事前観察のため、朝9時に公園の会議室に集合しました。今日は、明石高専の先生と学生の皆様は、夏休み期間のため参加されませんでしたが、それでも計11名のメンバーが集まりました。

午前中は、会議室で最近のエコウイングあかしの動きなどの報告の後、案内人の先生のご指導で公園内の昆虫を観察しました。夏も終わり、昆虫の姿は少なくなってきました。しかしその中で、色々な種類のハチのなかまが観察できました。中には、アリではないかかと思うような、とても小さな「イヌビワオナガコバチ」や、北方系のハチで明石市内ではこれまで明石公園周辺でしか観察されていなかった「チャイロスズメバチ」という、珍しい種類も確認できました。

朝のミーティング



昆虫観察の風景



● 午後

午後は、公園入口横の竹林で、先月の台風で倒された竹の伐採や下草刈りをした後、散策路をひと回りして危険な枯れ木の除伐や傷んだ階段の修復などをしました。事故などもなく、定刻の午後3時に活動を終わりました。

竹林の整備活動



散策路の階段修復作業



- 次回 10月 4日(土)9時から市民自然図鑑の昆虫観察、午後は定例の里山整備活動の予定です。たくさんの皆様のご参加をお待ちしています。

MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その1)

今日の金ヶ崎公園では、ハチのなかまをたくさん観察しました。案内人の先生の興味深い説明もあり、色々なハチの様々な生態や特徴などを理解できました。観察の最後になって、先生がアベマキの樹液に集まった昆虫の中に「チャイロスズメバチ」の働きバチ(メス)が1匹いるのを発見されました。

これまで明石公園と人丸山で巣始メスが確認されていたそうですが、働きバチが明石市内で確認されたのは初めてのことです。つまりこのどこかで巣が作られているということです。もともとは北方系のハチなのに生育域が南に広がっているということで、地球温暖化とは逆の面白い現象です。

金ヶ崎公園で初めて確認されたチャイロスズメバチの働きバチ(♀)



公園内のイヌビワの花(実のように見えますがイチジクと同じく花です)を割ったら、しっぽの長い小さなハチがたくさん出てきました。「イヌビワオナガコバチ」というハチで、幼虫はイヌビワの花の中で成長する「イヌビワコバチ」という別のハチに寄生して成長するとのことでした。

イヌビワの花にたくさん集まっているイヌビワオナガコバチ



イヌビワオナガコバチのアップ



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その2)

その他に確認したハチは、ミカドトックリバチ、エントツドロバチ、オオコンボウヤセバチ、スミスハキリバチ、キンケハラナガツチバチ、オオフタオビドロバチ、コガタズメバチ、オオズメバチなどです。また、公園の会議室入口のガラス戸には、ミカドトックリバチの巣も観察できました。

キンケハラナガツチバチ(♀)



キンケハラナガツチバチ(♂)



オオコンボウヤセバチ(♂)



ミカドトックリバチ(♂)



ミカドトックリバチの巣



スミスハキリバチ(♂)



飛行中のコガタズメバチ



アベマキの樹液に集まるオオズメバチ



ハチ以外の昆虫では、チョウやトンボ、アリ、ガ、セミなどのなかまをいくつか観察しました。ガのなかまの幼虫やヨコヅナサシガメの幼生も見つけました。子供たちに人気のカブトムシも姿を見せました。

ヒメウラナミジャノメ



ヤマトシジミ



ホシミスジ



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その3)

シオカラトンボ(♀)



リスアカネ(♂)



カノコガのペア



エビガラスズメ(ガ)の幼虫



セスジスズメ(ガ)の幼虫



カブトムシ(♂)



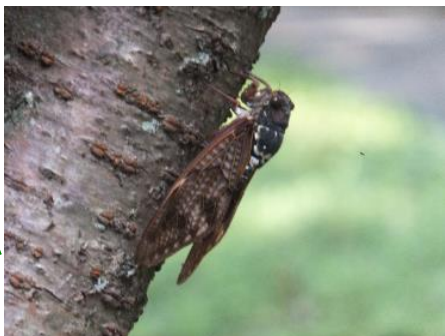
トゲアリの群れ。翅の生えたアリも何匹かいます。



ヨコヅナサシガメの幼生の群れ



まだ鳴いていたアブラゼミ



ミンミンゼミも鳴いていました



ツクツクボウシの抜け殻



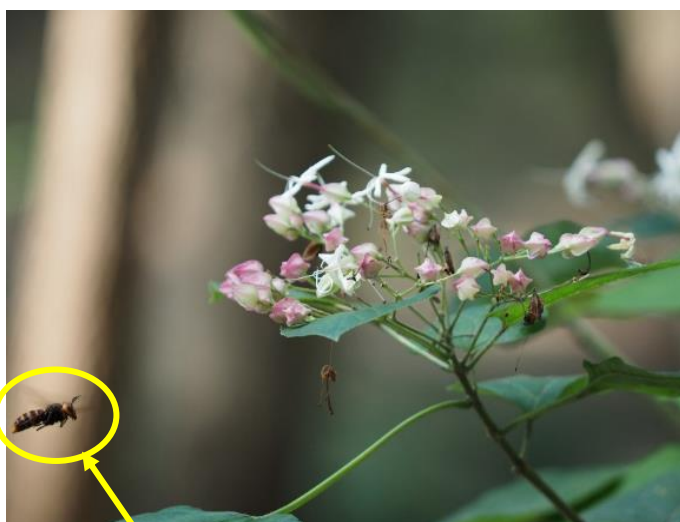
MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その4)

植物では、イヌビワやクサギ、ナンバンギセル、ハギの花が咲いていました。キノコのなかまもたくさん観察できました。

イヌビワの花。蜜がたくさん流れ出していました。



クサギの花



2ページ目の飛行中のコガタスズメバチはここを拡大したものです。

ナンバンギセルの花
ススキの根元にたくさん咲いていました



ハギの花



大きなキノコ「アカヤマドリ」
ボールペンが小さく見えます



キノコのなかま



キノコのなかま



キノコのなかま



キノコのなかま「ホコリタケ」



キノコのなかま



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その5)

野鳥は、そろそろ冬鳥が姿を現わすころですが、あまり多くの種類は確認できませんでした。それでも、ウグイスやコサメビタキ、ヤマガラ、カイツブリ、アオサギなどを観察しました。その他の生き物では、カエルやトカゲのなかまも姿を見せました。

ウグイス



コサメビタキ



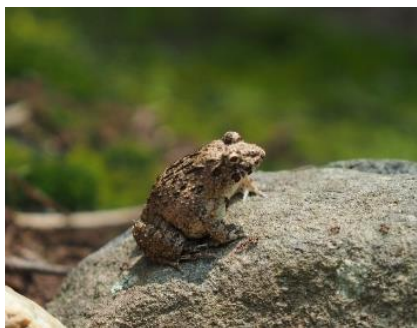
ヤマガラ



カイツブリ



ツチガエル



トカゲのなかま「ニホンカナヘビ」



案内人の先生から、アカメガシワの葉には葉柄の近くに花外蜜腺が2個あり、アリのなかまが木を登ってその蜜を吸いに来るという話を聞きました。さっそくアカメガシワの葉を観察すると、確かにアリが花外蜜腺に来ているのを確認できました。

アカメガシワの葉

